

## 日本語を含む旧データファイルの日本語表示について

---

Stata14 から Unicode 形式となり、変数名等にも日本語を問題なくご使用いただけるようになりました。しかしながら Stata13 以前で作成された日本語を含むデータファイルを 14 で開く際、含まれている拡張 ASCII の日本語文字が、Unicode の UTF-8 に変換しなければ文字化け表示されてしまいます。(Mac は Unicode を標準使用しています)

お客様には大変お手数をおかけいたしますが、いくつかの手順で変換をしていただくようお願いをしております。

日本語 Windows ご使用の場合は文字コード形式が SHIFT\_JIS である可能性が高いと思われるので、SHIFT\_JIS の場合の基本的な変換に関する日本語での説明は下記からご覧ください。

<http://www.math-koubou.jp/tb033.html>

なお、拡張 ASCII コードの文字形式から Unicode の UTF-8 への変換方法の詳細につきましては、メーカーが下記 HELP にて説明しておりますのでご参照ください。

<http://www.stata.com/manuals14/dunicodetranslate.pdf#dunicodetranslate>

基本的には、コマンド `unicode analyze` にて変換の必要性を分析し、変換が必要であればコマンド `unicode translate` で変換します(下記の \* はファイル名)。

- ・分析用コマンド: `unicode analyze *`
- ・変換用コマンド: `unicode translate *`

その際、古いデータファイルでどの文字コード形式が使われていたのかを推測して指定する必要があります。

- ・コード形式指定用コマンド: `unicode encoding set "encoding"`
- ・SHIFT\_JIS の場合の使用コマンド例: `unicode encoding set "SHIFT_JIS"`

日本語 Windows ご使用の場合は SHIFT\_JIS である可能性が高いと思われませんが、場合によってはいくつかの文字コード形式で変換する必要がある可能性もあります。

その他 UNIX ご使用の場合など変換可能な文字コード形式についての詳細は下記をご覧ください。

<http://www.stata.com/manuals14/dunicodeencoding.pdf>

なお、変換の作業中、作業用ディレクトリ内に生成される `bak.stunicode` というフォルダ中に、変換前のオリジナルファイルが自動的にバックアップ保存されています。Restore が必要な場合は、`Unicode restore` というコマンドを実行してください。

アップグレードされるユーザー様には上記のように大変ご迷惑をおかけいたしますが、メーカーといたしましては Unicode への移行により今後は日本語環境での使用がよりシンプルになると考えております。ご理解いただけますようお願い申し上げます。